

事務事業名		日本さくらの会参画事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	1	地域の特色を活かした快適なまちづくり				担当組織	担当部	都市建設部	担当課	都市整備課
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり				担当係	管理係	担当課長名	小野 英世	
	施策	3	快適で質の高い住環境の整備				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	4	公園の整備				実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	11724	一般	8	4	5	日本さくらの会参画事業					
	事業区分	市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業			
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H2年度～ 年度		根拠法令 条例等	実施方法		直営			
						事業分類		参画事業			
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
日本さくらの会に会員として負担金を支出している。また会発行の機関誌等から桜に関する情報を得ている。 日本さくらの会は、桜の愛護・普及・啓発等を図ることを目的として、1,546の自治体・法人・個人が会員となっている団体である。			(市の活動) ・日本さくらの会に負担金の支出。 ・機関誌等から情報収集し事務事業に活用した。 (日本さくらの会の活動) ・桜の植樹や愛護、桜名所の保全、銘木・巨木保存、桜に関する情報提供。							
活動指標			単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
都市公園数			箇所	154	157	157				
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
市職員 <参画対象団体>日本さくらの会			対象指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
都市整備課の職員数			人			18	18	18		
日本さくらの会の会員数			団体・個人			1,579	1,546	1,546		
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
桜についての最新情報を得て、事務事業に活用する。			成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
市民からの苦情・要望件数			件			168	212	180		
④結果(どのような結果に結びつきますか?)										
快適な住環境創出のため、公園等が整備されている。			上位成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
市民1人当たりの都市公園面積			㎡			18.27	18.36	18.92	19.53	19.87

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	10	10	10	10	10	
	事業費計(A)	千円	10	10	10	10	10	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			負担金	10	負担金	10	負担金	10
	人件費	人	1	1	1	1	1	
のべ業務時間	時間	2	2	2	2	2		
人件費計(B)	千円	8	8	8	8	8		
トータルコスト(A)+(B)	千円	18	18	18	18	18		

事務事業名	日本さくらの会参画事業	担当部	都市建設部	担当課	都市整備課	担当係	管理係
-------	-------------	-----	-------	-----	-------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	乱開発や公害等により衰退した桜をはじめとした樹木の被害対策が必要とされ、高度経済成長期の昭和39年に日本さくらの会が設立され、佐野市は平成2年度から参画している。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	近年の気候変動、地球環境問題や美しい景観の創造、地球温暖化や都市のヒートアイランド化防止の観点からも、みどりの保全・創出に大きな期待が寄せられている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	平成20年4月4日に市民から、城山公園の桜が枯れており、昔のような桜を守ってほしい、老木なら植樹を、病木なら治療をして頂きたいとの意見があった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	会への参画により、桜の情報収集が図られ公園や緑地の維持管理に役立っており結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	桜の保存、育成、愛護、保護に関することは、緑化保全の目的から妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	公園や緑地の管理に活用されており妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	公園や緑地の維持管理に活用されており、十分な成果が出ている。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	事業費は負担金のみであり削減できない。 人件費は必要最低限の人数で行っており削減できない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	公園や緑地の維持管理に貢献するものなので、受益者は不特定多数の公園等利用者となる。そのため、受益者は特定されず、受益者負担を求める必要はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
日本さくらの会が解散又は会から脱会すれば本事業は終了となる。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			